

# 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて 調査結果から見た本校児童の様子



## 学力について

— 帯広市立啓北小学校 — ● 北海道(公立) — 全国(公立)

理科(生命)の領域では全国の平均正答率を大きく上回りました。

国語(情報の扱い方に関する事項)の領域では全国の平均正答率を大きく上回りました。

理科(エネルギー)の領域では全国の平均正答率を大きく下回りました。

国語(読むこと)の領域では全国の平均正答率を下回りました。

算数(測定)の領域では全国の平均正答率を大きく上回りました。

算数(数と計算)の領域では全国の平均正答率を大きく上回りました。

### 【国語】

### 【理科】

#### ◎全国よりも正答率が高かった問題

- ・「チラシの中で、てぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する」設問

#### ▽全国よりも正答率が低かった問題

- ・「インタビューで発言した理由として適切なものを選択する」設問。

#### □無解答率の高かった問題

- ・「資料を読み返して、自分が納得した理由を複数の資料に書かれていることを理由にまとめて書く」設問。

#### ◎全国よりも正答率が高かった問題

- ・「レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気付きを基に、見いだした問題について書く」設問

#### ▽全国よりも正答率が低かった問題

- ・「乾電池2個のつなぎ方について、直列につなぎ、電磁石を強くできるものを選択する」設問。

#### □無解答率の高かった問題

- ・「赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を用いて書く」設問。

### ☆今後に向けて

- 「書く」単元では、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考える指導を継続していきます。
- 「話す・聞く」単元では、自分の話し方・聞き方を高めることはもちろん、他者の話し方・聞き方について意図や目的が適切かどうかを客観的に考えさせ、言語化させていきます。

### ☆今後に向けて

- 5・6年生での授業の導入に3・4年生の復習を取り入れたり、系統的なつながりを結び付けて指導したりすることで、学習内容を定着させていきます。
- 重要語句やキーワードを使用して予想や考察を記述したり、授業のまとめを児童が自分の言葉でまとめたりして、記述で書く練習を積み重ねられるようにしていきます。

### 【算数】

#### ◎全国よりも正答率が高かった問題

- ・「数直線上に示された数を分数で書く」設問。

#### □無解答率の高かった問題

- ・「 $3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/4$ と $2/3$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く」設問。

#### ▽全国よりも正答率が低かった問題

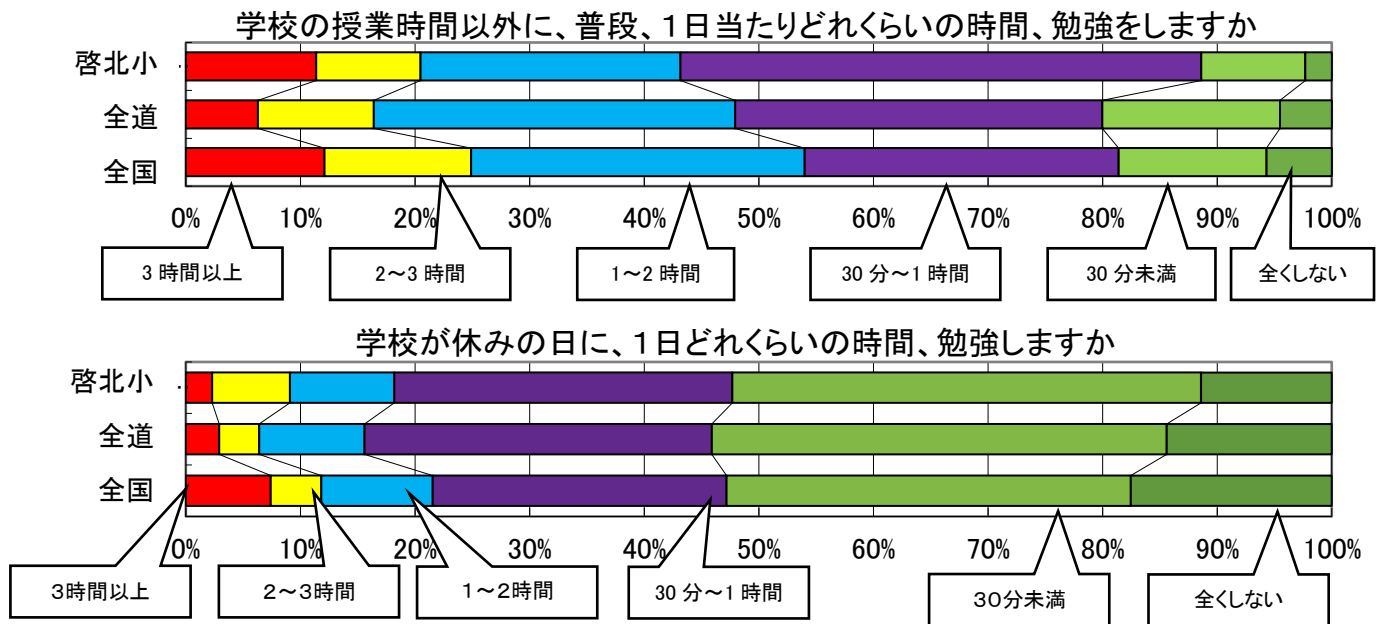
- ・「方眼上の5つの図形の中から、台形を選ぶ」設問。

### ☆今後に向けて

- 日常の授業から、黒板やICTを用いて、グラフや図から何が読み取れるのか考えさせるようにしたり、グラフや図を指し示しながら言葉を使って説明したりする指導を進めていきます。特に高学年においては、説明を式や文を使って書き表す授業展開を続けていきます。

## 学習状況について(児童質問紙より)

- 学習意欲が高く、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という質問では、全国平均より「できている」と答えた児童が多いです。
- 「新聞を読んでいるか」という質問では、全国平均より「週に1～3回程度」と答えた児童が多いです。
- 「読書は好きですか」という質問では、全国平均より「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と答えた児童が多いです。
- 学校の授業以外の勉強時間は、全国平均と比べると、1時間未満の児童が多い傾向があります。



そこで  
学校では…



家庭では…

### ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に 向けて取り組みます

- タブレットを活用した補足的・発展的な学習
- TTや習熟度別・少人数指導など複数の教師による個に応じた指導
- 「子ども」が主語になる授業づくり

### ②9年間を見通した系統性のある指導を行います

- 一中エリアにおける連続性・系統性のある教育の充実（出前授業）

### ③学習規律・学習習慣・読書習慣の定着に向けて 取り組みます

- 「学習のきまり」の徹底やレジリエンス教育を通じて、安心して学習できる環境づくり
- 宿題の提示や、家庭学習への取組推奨と評価（児童への励まし）
- ブックール便の活用や全校朝読書などを通じて、読書を習慣づける環境作り

### ①机に向かう時間を確保しましょう

- 目標は「10分間×学年+10分間」
- 時間帯を決めて毎日継続（定着するまでは、保護者からの言葉掛けを）

### ②メディア利用のルール作り（時間を決める） をしましょう

- テレビ、ゲームやネット利用の時間を減らし、家庭学習や読書の時間に（ストップ・ザ・見放題、家読の取組）

### ③心が触れ合う時間を確保しましょう

- 将来を思い描き、学習の意義を感じながら意欲をもって学習に取り組む姿勢の育成
- 子どもの頑張りを褒め、良い所を認める

これからも学校と家庭が連携し、子どもの学力向上を目指しましょう！